Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・ニュース　第9号

発行所　〒186国立市谷保8453－2　東京基督神学校内

十五周年を迎えた神学会

横山　武

早いもので、神学会が発足してから、十五年になります。その間、一般社会では、経済の高度成長の夢に酔ったり、石油ショックがあったり、また公害問題が深刻になり、飢餓や難民の問題が起こるなど、さまざまな出来事がありました。まさに、今昔の感です。

しかし、激変する社会の中で、神学会はその原点ともいうべき立場を変えることなく守ってきました。設立の目的に、福音主義の立場に立って「神学的研究を行ない」、「相互の交流をはかり」、「教会の健全な成長と発達に奉仕する」ことが明記されています。したがって、現在の神学会の課題の一つは、この基本的立場と目的をどのようにして、現代の社会に対して、生命のある証しとなるように適用して行くかにあるといえましょう。

たしかにこのことは、言うに易く、行うに難い課題であるかも知れません。ただ、肝要なことは、生命のある証しができる体質と姿勢を、いつも保ちつづけることではないでしょうか。

十五年の年月は長いようで短い歩み、歴史のひとこまに過ぎません。この点、神学会が長い歴史をもつ欧米の教会の神学的な営みに関心をもつことも有益でしょう。また、最近注目を集めている第三世界の神学への関心も必要でしょう。さらに、アジアの教会とその神学に対しても、深い関心と健全な交流がなされるべきでしょう。神学会にとって、これらは国際的な視野の広さと成長のための適切な励ましを与えてくれるものとして、有効に働くに違いありません。

「教会の健全な成長と発達に奉仕する」という課題は、神学会の今後の歩みにとって、特に大切と思われます。時代がますます専門化と細分化の方向に進む中で、神学研究も専門化され、内容も多岐にわたり、それらが教会に及ぼす影響も多様化してくることは避けられない傾向となるでしょう。神学研究の専門化と深化は、それ自体必要なことではありましょう。しかし、それらが形骸化したスコラ主義や死せる正統主義的な、実りのない道ではなく、いつも片寄らずに、堅実な道を神学会に歩ませるためには、教会に奉仕する神学会としての体質を生き生きと保ちつづけることが大切なのではないでしょうか。

具体的には、神学会は山積する種々の課題を抱えています。しかし、そのことはむしろ神学会にとって幸いなることかも知れません。課題のある分だけ、期待もされているのだと、考えることができるからです。

福音主義信仰に立つ日本の教会・教派との健全な関係の育成は、常に神学会が努力しなければならないことでしょう。また、教会の働きとしての神学校、研究機関、諸団体との開かれた協力関係も大切ではないでしょうか。日本の福音派自体も、日本福音同盟（JEA）再編成の例に見るように、新しい時代に踏み出そうとしております。神学会においても、新しい時代への第一歩として一九八五年秋の第三回神学研究会議を充分に成果あるものとし、さらに健全な発展を続ける礎とするように期待したいものです。

（東部部会理事長）

東部部会報告（Ⅰ）

（一九八四年四月～十月）

一、役員会（理事長、会計、総務、書記の四役で構成）日程

◎四月二十三日（月）
◎六月二十五日（月）
◎九月　七日（金）
◎十月二十六日（金）

二、理事会

◎四月十三日（金）　於　お茶の水学生キリスト教会館　出席者　八名

。五月七日の春の研究会の発題者を決めた。

◎九月二十一日（金）　於　お茶の水学生キリスト教会館　出席者　十一名

。正会員二名の入会、準会員一名の入会を認めた。

。学会誌のバックナンバーの処理について審議した。

。秋の研究会のプログラムの作成をした。日時は十一月二十六日(月)午後零時三十分から五時三十分までとした。

。十五周年神学研究会議について論じ、一九八五年十一月二十五日（月）～二十七日（水）に行うことにした。西部より二名、中部より二名、東部より四名の準備委員を出すことにした。

三、第十五回総会・シンポジウム・講演会報告

。日時　五月七日（月）午後一時三十分から八時三十分まで

。礼拝　司会　藤原導夫氏　説教　山口勝政氏

。総会　司会　丸山忠孝氏　書記　大滝信也氏

。シンポジウム

テーマ「B・B・ウォーフィールドの聖書論をめぐって」

司会　津村俊夫氏、発題　上沼昌雄氏、宮村武夫氏、丸山忠孝氏

。講演会

司会　大滝信也氏

講演「クリスチャンライフの神学――在来西洋神学の考察と聖書神学への招き」　蔦田公義氏

四、特別集会

六月十八日（月）　於　お茶の水学生キリスト教会館

講演「最近の福音派における聖書批評学の動向」　ダラス神学校　N・ガイスラー博士

五、新入会員の審査

。正会員

ラルフ・A・スミス氏
小島　崇氏

。準会員

小平牧生氏

六、部会

◎「高度技術社会と倫理」研究会　於　お茶の水学生キリスト教会館

。四月十六日（月）

テーマ「生命に対する聖書的理解」発題者　上沼昌雄氏

。六月二十五日（月）

テーマ「生命に対する旧約聖書の見方」発題者　津村俊夫氏

。九月十日（月）

テーマ「七月五日に日本カトリック司教団によって公表された胎児の生命の尊厳についてのカトリックの見解をめぐって」発題者　稲垣久和氏。

（以上書記　大滝信也）

東部部会報告（Ⅱ）

（一九八四年十一月～一九八五年五月）

一、神学会名簿発行（八四年十一月）

。一九八五年五月現在の東部部会会員数

名誉会員　九名
賛助会員　十五名
正会員　一四三名
準会員　三十名
合計　一九七名

。名簿訂正（東部）

（正会員九八）ノードストロム氏
米国住所＝〒359　所沢市南住吉十六－十六
（正会員九九）野口　誠氏
茨木キリスト教大学教授＝茨城（正会員一一一）本間正己氏
電話三三二・〇九八二＝九二〇・九二六三
（正会員一四四・一四五）中村智博氏・銘形秀則氏を（準会員）欄へ

二、名誉会員　岩本岩次郎氏は十一月十九日召天されました。

三、理事会

◎一九八五年三月一日（金）　於　お茶の水学生キリスト教会館　出席者　七名

。会誌十六・十七号について

。春の総会を五月十三日（後に、六月十七日に延期）に予定。同日の研究会主題を「福音主義聖書解釈の基本的問題とは」とする。

。名誉会員推挙　瀬尾要造氏（正会員七三）と本田弘慈氏（正会員一一二）の神学会への貢献を多とし、名誉会員に推挙することを決定。

。会員審査　安納義人氏（日本同盟基督教団　久留米聖書教会牧師、東京基督教短期大学講師）を正会員として入会していただく。〒352　新座市石神一－八－五　電話〇四二四（七五）六三七六

。神学会創立十五周年記念会・第三回神学研究会議（一九八五年十一月二十五～二十七日）のため東部準備委員会を結成した。委員は横山理事長、理事から小島、佐布、湊、中沢、大滝、丸山の諸氏。

四、役員会日程

◎一九八五年三月一日（金）
◎同五月十八日（土）
（以上書記　大滝信也）

「高度技術社会と倫理」研究会報告

東部部会の「高度技術社会と倫理」研究会は八五年二月に第一回の会合をもって以来（JETSニュース第8号既報）、第二回を四月十六日（上沼昌雄氏）、第三回を六月二十五日（津村俊夫氏）、第四回を九月十日（稲垣久和氏）に持ちました。テーマは生命倫理で、上沼氏は創造論の再確認といのちの問題を、津村氏は創世記一～二章における神論と人間論を、稲垣氏は日本カトリック司教団の教書から自然法と社会倫理の関係の問題を発題しました。この研究会はキリスト教社会倫理の探求の場ですが、特に欧米人とは違った精神構造を持ちながら高度な技術社会を達成している日本人の社会構造に焦点をあてながら、現代における「国家と教会」の問題の一つとして探求していきたいと思っています。

以後、「産業化・管理化社会」（十一月五日、藤村　徹氏）、「教育（家庭・教会・学校）」、「核兵器と平和」をテーマとしていく予定です。連絡先・稲垣（〇三（四四一）五四八八）。

西部部会報告（Ⅰ）

一、理事会
◎一九八四年五月十四日（月）於　神戸神港教会　出席者　七名
◦準会員　佐々木昭正氏退会承認
◦新入会員審査
（正会員）高橋　博氏、升田　浩氏
（準会員）金　聖基氏、津村春英氏
◦郵便投票による一九八四年度理事改選の結果、左の諸氏が選ばれた。なお、役職は理事の互選による。
安田吉三郎（長）、高橋久之（書記）、工藤弘雄（会計）、片岡伸光、清水氾、村田充八、諸氏。
次点者　白井公朗氏
◎八月二十七日（月）於　神港教会、出席者　八名
◦新入会員審査
（正会員）北野耕一氏承認
◦特別講演会開催
九月七日（金）、午後七～九時、神戸改革派神学校を会場に、キステマーカー博士（米国福音主義神学会のリーダー）を講師とする。
（以上、理事会議事録より作成）

西部部会報告（Ⅱ）

（八四年十一月～八五年三月）
一、理事会
◎八四年十一月十九日　於　ルーテル神学校
◦会計報告および会費滞納の報告があった。
◦学会誌第十五号について
◦九州地区活動報告、安田理事長より、十一月五日の講演会、研究報告会の報告がなされた。
◦韓国の福音主義神学会の最近の動向について、鍋谷氏より報告があった。
◦名簿訂正（西部）
・（正会員二）安達賢二郎氏、電〇八五三（二二）四六九三に変更、学位M、Divを追加
・（同十七）岩本助成氏、住所〒五四五大阪市阿倍野区丸山通一ノ三ノ二二、電〇六（六五二）四七二〇に変更
・（同十九）海老原道雄氏、東鳴尾ルーテル教会牧師に変更
・（同二三）岡崎孝志氏、西日本東福山ルーテル教会牧師を追加、住所、福山市青葉台四－八二に変更
・（同二六）奥川泰弘氏、神戸ルーテル神学校講師に変更
・（同三）柏木哲夫氏、淀川キリスト教病院副院長に変更
・（同三三）片岡伸光氏、住所、伊丹市西台一丁目五－二〇、伊丹駅前ファミリーハイツに変更、M・Divを追加
・（同四五）栗崎和重氏、近畿福音ルーテル泉北教会牧師、住所を〒五八八堺市深阪三四一ノ三、電〇七二二（三六）五〇二一に変更
・（同九六）原　拓也氏、西日本ルーテル津山教会牧師、住所、〒七〇八津山市川崎六六六ノ一、電〇八六八二（二）五二四八に変更
・（同九九）広野善彰氏、西日本ルーテル姫路教会牧師、住所、〒六七〇姫路市増井本町二ノ一ノ十五、電〇七九二（二四）〇六四六に変更
・（同一〇六）牧浦成宣氏、住所に清和キリスト教会内を追加
・（同一二二）村田充八氏、住所、神戸市灘区赤坂通五ノ二ノ一六、電〇七八（八七一）二二九七に変更
・（同一三五）北野耕一氏、アッセンブリー宣教師、住所、Far East Advanced School of Theology, P.O.Box 8 Valenzuela, Metro Manila 2627 Philippines, Tel (23) 14－75を追加
・（準会員四）杉本智俊氏、住所、D－954 TEDS 2065 Half Day Road, Deerfield, IL 60015 に変更
・（同七）中村二郎氏＝正会員へ
・（同十）正木牧人氏＝正会員へ、住所、〒六七五加古川市野口町北野九九一－三〇二、電〇七九四（二三）六〇八五に変更
◦新入会員審査、承認

・増井志津代氏（日本地方伝導団佐伯福音キリスト教会）〒六六二西宮市城山町八ー一、城山パークハイム一〇二、電〇七九八（七二）六三一九

・中島美知子氏（松本ホーリネス教会、医療法人華の会、オリブ山病院）〒九〇三那覇市首里石嶺町四ノ三五六、オリブ山病院、電〇九八八ノ八六ノ二三一一、

・森山健也氏（香椎バプテスト教会牧師）〒八一三福岡市東区香椎駅東一ノ一二ノ三六、電〇九二（六七一）一一四九

・矢野敏博氏（日本アドベントキリスト教団古賀五楽丘教会牧師）〒八一一ー三一福岡県粕尾郡古賀町久保八七二ノ二、電〇九二（九四二）三一四五

（以上正会員）

・中島修平氏　Fuller Theological Seminary Box970 135North Oakland Ave。Pasadena, CA91101 U.S.A

（準会員）

○学会誌十六号の編集について

○その他、学会誌十五号を、神学校、大学神学部、国会図書館に寄贈することが決せられた。

◎一九八五年三月十八日（月）於　高橋久之理事宅

○新入会員審査・承認

（正会員）　相沢　寛氏

H・A・ネットランド氏

○退会届受理

（正会員七）石川良知氏

（同　四七）五島　勝氏

（同　七〇）武井亮二氏

○一九八五年度総会に向け、理事改選を行う。対象理事は橋本、服部、鍋谷、唄野、中島、有賀の六氏。推薦候補として、市川俊一、石黒則年、滝浦　滋、高松隆二、竹内　豪、橋本昭夫の六氏を推す。

○新たに九州地区担当理事を二名おく。候補者として窪寺俊之、東条隆進、増田　祈、山中猛士の四氏をたてる。

○新たに四国地区担当理事一名をおく。候補者として鈴木英昭、森作常生の二氏をたてる。

西部部会九州地区報告

◎研究発表・講演会

八四年十一月五日（月）午前九時半ー午後四時半　於　福岡新生キリスト教会　出席者二五名

・司会　増田　祈氏。説教　窪寺俊之氏、竹田　浩氏

○研究発表

(1)「聖書における文化の取り扱い」山中猛士氏

(2)「現代経済と福音」東條隆進氏

(3)「福音主義視点における技術的規範と人間の責任」村田充八氏

(4)「ヨナ書における反復」服部嘉明氏

○講演

「聖書の翻訳と解釈」

安田吉三郎氏

（以上書記代行　村田充八）

西部部会報告

（八四年十一月十九日、午後二時より、神戸ルーテル神学校）

・司会　服部嘉明氏、安田吉三郎理事長あいさつのあと研究発表会。

研究発表者

・日本における聖書的神観の確立をめざして――インドネシヤから学んだもの――　入船　尊氏

・北森神学の序論的考察　橋本昭夫氏

・出席者三四名

（八四年十一月十九日、午後二時より）

・司会　服部嘉明氏、安田吉三郎理事長あいさつのあと研究発表会。

研究発表者

・日本における聖書的神観の確立をめざして――インドネシヤから学んだもの――　入船　尊氏

・北森神学の序論的考察　橋本昭夫氏

・出席者三四名

中部部会報告

（八四年五月～八五年五月）

一、理事会

◎一九八四年五月十四日（月）愛知県中小企業センター　出席者五名

○理事改選の結果八四年度役員は左の通り。

黒川（長）、内村（書記）、鈴木（会計）、牧田（編集）の諸氏

◎同六月十日（日）志賀教会　出席者三名

○新入正会員審査・承認

明田勝利、有田　弘、小川幸男、兼松一二、桜井圀郎、富沢誠治

○秋季研究会（十一月十二日）

説教論を主題、講師内村サムエル氏

◎同九月九日（日）志賀教会　出席者四名

○第三回公開講演会を八五年五月十三日（月）に予定。講師を稲垣久和氏（東部）とする。

○西部部会より金田幸男氏の入部を承認した。

◎一九八五年二月十七日（日）

○総会準備および年間活動計画の立案

○新入正会員審査・承認

梶　日出男氏（単立春日井福音キリスト教会牧師）

細江和弥氏（可児福音教会牧師）

二、秋季研究会

十一月十二日（月）　金山教会

開会礼拝　西堀則男氏

講演「説教について・実践神学の立場から」　内村サムエル氏

三、公開講演会

八五年五月十三日（月）中小企業センター　出席者四五名

（午後）「生命科学とプロテスタントの倫理」（教職対象）

（夜）「進化論とキリスト教の世界観」（一般対象）

いずれも講師　稲垣久和氏。

（以上報告　黒川雄三理事長）